

2025年2月17日

各位

株式会社 北海道銀行

**陸別町と株式会社バイウィルとの環境価値活用による
カーボンニュートラル達成に向けた連携協定の締結について**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、北海道陸別町（町長：本田 学、以下「陸別町」）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎、以下「バイウィル」）との間で、2月17日（月）に連携協定を締結しましたのでお知らせいたします。

本協定をもとに、陸別町内で創出可能なJクレジットをはじめとする各種環境価値に関する情報・ノウハウ等の共有や、新たなビジネスモデルの創出に取組み、三者が連携して地域のカーボンニュートラルの実現を目指してまいります。

記

1. 連携事項

- （1）環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- （2）環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- （3）その他、本協定の目的に資すると当事者すべてが認める事項

2. 本連携協定締結の経緯

陸別町は、2023年3月7日に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指すことを表明しました。実現にむけて、太陽光発電設備・蓄電池等の導入拡大や、町内面積80%を超える豊かな森林の保全・整備、そしてJ-クレジットや森林環境譲与税による経済循環を掲げています。

このような背景から北海道銀行は、Jクレジット創出事業を支援するバイウィルを陸別町へご紹介し本締結に至りました。今後、バイウィルは森林由来のJクレジット創出・販売をご支援する予定です。販売面では北海道銀行も協力し地域活性化を図ってまいります。

3. 締結式

- （1）日 時 2025年2月17日（月）13時00分
- （2）場 所 陸別町役場
- （3）出席者

陸別町 町長	本田 学
株式会社バイウィル 執行役員	齋藤 雅英
北海道銀行 執行役員	堀 勝律

<連携協定締結式の様子>



写真左から
北海道銀行 堀執行役員、
陸別町 本田町長、
バイウィル 齋藤執行役員

4. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 経営企画部 サステナビリティ推進室 津村 Tel(011)233-1009
地域創生部 渡辺 Tel(011)233-1274